

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、16名の議員が34項目について行いました。

◆斎藤信治 議員

- アダプテッドスポーツの推進を
- GIGAスクール次の一歩、オンライン授業について

◆中川幸廣 議員

- 教育にかかる費用の私費負担に公的補助を
- 市内における孤独死の状況と対策について

◆菱沼あゆ美 議員

- AED普及推進と使用について
- 水管橋について
- 流産・死産を経験された方への支援について

◆遠藤 誠 議員

- コミュニティ事業のために
- 図書館や自由通路等の場所と空間の価値について
- 近現代美術品の展示について、できない言い訳より、できる工夫を

◆黒須大一郎 議員

- 白岡市行財政改革推進大綱の総括を問う
- 市の財政規律とは
- まちづくりの計画と行財政改革推進を問う

◆石渡征浩 議員

- 地域公共交通の将来像について
- 放課後子ども教室について

◆山崎巨裕 議員

- 改訂版ハザードマップについて
- 市の配布物について
- 特別支援学級について

◆中山廣子 議員

- 読み書き情報支援について
- 水道の検針業務などについて

◆中村匡志 議員

- 市内の農業に対する米価暴落と原油価格高騰の影響について
- 行政区制度の再活用化について～「参画と協働」、「共助(防災・防犯)の基盤」、「文化継承の主体」、「シニア世代が輝く場」及び「シビックプライドとシティプロモーションの基本単位」の観点から
- マイナンバーカードの普及について
- 消防力と水防力の維持・構築について

◆渡辺聡一郎 議員

- 白岡中央総合病院の移転と医療環境の向上について
- アクティブシニア・高齢者活躍支援について

◆関口昌男 議員

- 福祉3医療の県内現物給付化について
- 本年度の人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告と市の対応について

◆松本栄一 議員

- ゼロカーボンシティ宣言について
- 当市の人口減少対策について

◆石原富子 議員

- 2040年問題に向けて(その2)

◆大島 勉 議員

- 市長の政治姿勢について

◆野々口真由美 議員

- 補助金交付に関わる事務執行等及び会計処理について

◆細井 公 議員

- 白岡駅西口周辺の商業環境について

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



斎藤信治 議員
(WAKABA)

問 個別のオンライン授業を

4月からGIGAスクールが始まり、市内の小中学生全員が一人一台タブレット端末を持っている。様々な理由で学校に行けない子どもがいる。個々に応じたオンライン授業を提供することで、誰一人取り残さない教育を受ける権利を保障できないか。

答 一人一人工夫をしながら対応している

様々な理由で学校に登校することができない子どもたちへの支援策として、オンライン授業を含め、工夫をしながら対応している。一人一人の児童生徒に適した具体的な対応方法を学校と保護者、児童生徒との間で協議の上、決定している状況である。

問 アダプテッドスポーツの推進を

平成17年から障がい者と健常者がともに行うアダプテッドスポーツ教室を開催してきたが、参加者の固定化など停滞している。障がい者がスポーツに参加できる環境づくり(イベント開催・施設整備・広報・既存クラブによる受け入れなど)を進められないか。

答 障がい者スポーツの理解・普及に努める

スポーツ推進委員連絡協議会と連携し、障がい者が参加できるスポーツ教室を継続して実施していく。また、体育施設を安心して利用できるよう配慮するとともに、市体育協会に講習会の情報を提供し参加を促すなど障がい者スポーツへの理解・普及に努める。

